Section 01

Apple Watchとは

Apple Watchは、iPhoneと連携して利用できるApple社のまったく新しいウェアラブルデバイスです。Apple Watchを利用するには、iPhone 5以降のiPhoneが必要です。

1

Apple Watchとは

Apple Watchは、生活の記録をとることで体調管理のサポートをしたり、iPhoneを取り出さずに通話やメール、音楽の再生などの役割を果たすことのできるウェアラブルデバイスです。38mmと42mmの2サイズあり、左右どちらの手首にも装着できるよう設定することが可能です。
文字盤は、天気やアラームに加えその日のスケジュールなども表示させることができ、組み合わせのカスタマイズも合わせれば数百万ものデザインパターンから、自分の好みのデザインにカスタマイズして楽しめます。
なお、Apple Watchは耐水ですが防水ではありませんので、取扱いには十分に注意しましょう。

MEMO ウェアラブルデバイスとは

ウェアラブルデバイス（Wearable Device）とは、常に身に着けておくことのできるコンピューターデバイスです。Apple Watchのような腕に着けるブレスレット型デバイスのほか、頭に装着するメガネ型のデバイスもあります。

各モデルの違い

Apple Watchは、ベーシックな「Watch」、スポーツに特化した軽量タイプの「Sport」、そして高級感あふれる「Edition」という3種類があります。種類により外観・素材・値段が異なりますが、搭載されている機能は同じで本体の記録容量もすべて8GBです。それぞれに付け替えられるバンドも発売されているので、好みや気分に応じてカスタマイズすることが可能です。

●各モデルごとのスペック一覧

	Sport	Watch	Edition
高さ×幅×奥行	42mm：42mm×35.9mm×10.5mm 38mm：38.6mm×33.3mm×10.5mm		
本体カラーバリエーション	シルバー、スペースグレイ	ステンレス、スペースブラックステンレス	18Kローズゴールドケース、18Kイエローゴールドケース
バンドバリエーション	スポーツバンド（ホワイト、ブルー、グリーン、ピンク、ブラック）	スポーツバンド、クラシックバックル、ミラネーゼループ、レザーループ、モダンバックル、リングブレスレット	スポーツバンド、クラシックバックル、モダンバックル
重量	42mm：30g 38mm：25g	42mm：50g 38mm：40g	イエローゴールド42mm：69g ローズゴールド42mm：67g イエローゴールド38mm：55g ローズゴールド38mm：67g
連続使用時間	18時間		
ストレージ容量	8GB		
画面素材	通常のガラスの5倍の強度を持つといわれている、Ion-Xガラスを使用。	ダイヤモンドの次に硬い透明な素材といわれている、サファイアクリスタル仕様。	

1

MEMO 容量について

Apple Watchのストレージ容量は8GBですが、8GB分の音楽や画像データを保存できるというわけではありません。データの種類により、保存できる最大容量は決められており、音楽は2GB（約200曲）、写真は75MB（約100枚）までとなっています。そのため、iPhoneに入っている音楽や画像をすべてApple Watchにも入れるということは難しそうですが、お気に入りの音楽や大切な画像を常に身に着けておけるので、いつでも好きなときに楽しめます。

Section 02

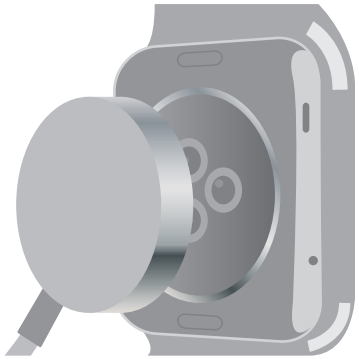
Apple Watchを充電する

Apple Watchは付属の充電ケーブルを使用して、こまめに充電するようにしましょう。なお、バッテリーの消費量は利用法によって異なります。

1

Apple Watchを充電する

Apple Watchを充電するには、磁気充電ケーブルを電源アダプタに差し込み、電源アダプタをコンセントに差し込みます。右の図のように本体の裏面に磁気充電ケーブルの凹んでいる面を近づければ、充電が開始されます。
なお、Apple Watchは使用する機能によって、充電の持ち時間が異なります。詳細は下記MEMOを参照してください。



MEMO

バッテリーの消費量と利用可能時間

Apple Watchは、使う機能や時間によって、バッテリーの消費量が異なります。時刻表示にのみに利用した場合は最大48時間利用可能ですが、オーディオ再生では最大6.5時間です。基本的には常に身につけているものですから、一日の終わりには必ず充電器を接続し、翌日に備えるようにしましょう。

時刻表示	最大48時間
オーディオ再生	最大6.5時間
連続通話時間	最大3時間
ワークアウト	（第4章参照）　最大6.5時間
省電力モード	最大72時間

Section 03

Apple Watchの各部名称

Apple Watchは、本体側面のボタンやタッチディスプレイを利用して、各種操作を行います。ここでは、各部の名称を確認しておきましょう。

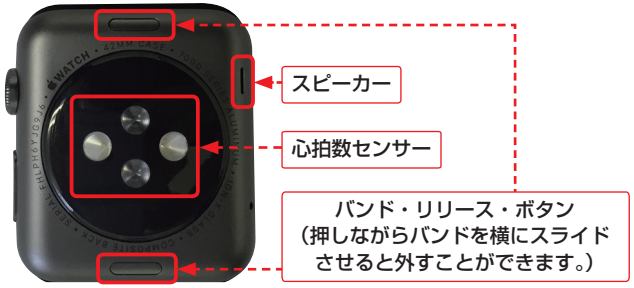
1

各部名称

正面

右側面

背面



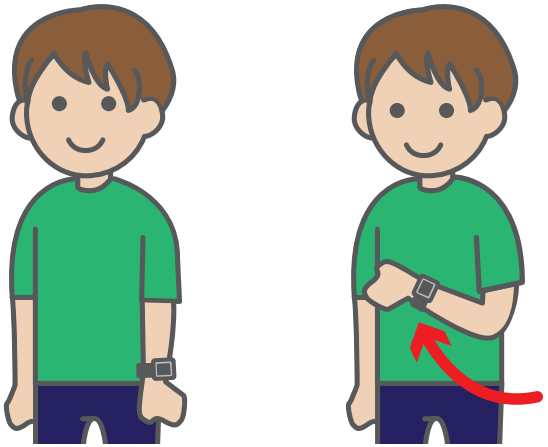
Section 04

Apple Watchの基本操作

Apple Watchでは、タッチディスプレイのほかに、デジタルクラウンやサイドボタンを用いて操作を行います。ここでは、Apple Watchを利用するにあたり、基本となる操作方法を解説します。

1

腕の上げ下げ



Apple Watchを装着した腕を持ち上げ、ディスプレイをのぞき込むように動作すると、Apple Watchのディスプレイが点灯し、情報の確認や操作をすることができます。

MEMO

腕を上げたときに表示される画面

初期状態では、腕を上げるとApple Watchのスリープが解除され、文字盤が表示されるように設定されています。文字盤ではなく、スリープ状態になる前に表示していた画面が表示されるように設定したい場合は、ホーム画面（Sec.07参照）から<設定>→<一般>→<手首を上げたとき>の順にタップし、<最後に使用したAPP >をタップしましょう。

本体の操作

デジタルクラウンを押す

デジタルクラウンを押すと、Apple Watchのホーム画面または文字盤が点灯します。

デジタルクラウンを長押しする

デジタルクラウンを長押しをすると、<Siri >（Sec.09参照）が起動します。

デジタルクラウンを上下に回す

デジタルクラウンを上下に回すと、拡大や縮小、スクロールや、音楽のプレイリストからお気に入りの音楽を探すことなども、すばやく行うことができます。

デジタルクラウンを2回押す

デジタルクラウンを2回押すと、最後に起動したアプリが表示されます。

1